

「ならしのこどもを守る地域ネットワーク代表者会議」会議録

1. 会議名

平成 27 年度第 1 回ならしのこどもを守る地域ネットワーク代表者会議

2. 開催日時

平成 27 年 5 月 14 日 午前 10 時～12 時

3. 開催場所

消防庁舎 4 階 会議室

4. 出席者氏名

(委員)

森山直人委員・石原徳子委員・山宮賢委員・海寶嘉胤委員・上谷豪委員・
高橋君枝委員・齋藤秀明委員・眞殿弘一委員・早瀬登美雄委員・市瀬秀光委員・
村田均委員・立田和男委員

(事務局)

和田のり子(子育て支援課長)・奥井菜摘子(子育て支援相談係係長)・
千葉麻衣(主事)

5. 議題

- 1 ならしのこどもを守る地域ネットワークについて
- 2 平成 27 年度ならしのこどもを守る地域ネットワークの取り組みについて
- 3 平成 26 年度相談実施状況について
- 4 ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修会(案)について

6. 会議内容

(1) ならしのこどもを守る地域ネットワークについて 事務局和田課長より説明

①要保護児童対策地域協議会(ならしのこどもを守る地域ネットワーク)の概要・
目的について

②要保護児童等の発生予防や重症化防止に資するサービスや制度の実態

- ・養育支援家庭訪問事業
- ・子育て短期支援事業(ショートステイ)
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・一時保育事業

(2) 平成 27 年度ならしのこどもを守る地域ネットワークの取り組みについて

①早瀬委員(実務者会議座長)より説明

平成26年度に見えてきた課題に基づき、平成27年度の取り組みについて説明。

②意見交換

・村田委員より

小学生は中学生に比し、発見しやすい。表面化しやすいという特徴がある。中学生は把握まで時間を要することも多い。

本市はコンパクトであるが、それでも地域性はある。例えば中学校区毎の会議はどうか。

・市瀬委員より

学校現場では、いじめ・不登校などが問題となっている。また、虐待通告の徹底を確認している。

朝食の摂取や、歯磨きの励行は、未然防止や早期発見にもつながるとの考えから力を入れている。

・高橋委員より

民生児童委員は「子育て支援」の視点を重視している。3年前より家庭・子どもについての連絡会が定着した。また、主任児童委員と民生委員での情報共有もできている。

4ヶ月のブックスタート、10ヶ月の健診のお手伝いは地域の子育て世帯と接点ができる場となっている。

・真殿委員より

習志野市では妊娠期から切れ目のない母子保健活動が行われている。最近フィンランドからの言葉で「ネウボラ」が話題となっているが、習志野版ともいうべき母子保健活動の内容はホームページでも掲載しているところ。こうした切れ目のない支援が虐待の芽を摘むことになる。

・上谷委員より

医療や障がいのサービスに繋げておけば…。と思うケースは多い。療育手帳を取得できる人が増えると良い。

・石原委員より

健康福祉センターとしては①母子保健としての取り組みとして、小児慢性特定疾患に関することや子育て相談がある。「子育て相談」は育てにくさを感じている親子を対象に臨床心理士がアドバイスをする相談だが、専門性を持って行っている内容で、その親子だけでなく、相談を持ち込む関係機関側のスーパーバイズの役割も担っている。②精神保健相談は精神疾患に関する相談や発達障がいに関する相談などが主で、場合によってはより専門性を持った医療機関への橋渡しをすることもある。

(3) 平成 26 年度相談実施状況報告

・習志野市の傾向と特徴について 事務局より説明

- ①相談件数は平成 21～25 年までは 6,000 件程度で推移していたが、平成 26 年度は 8,500 件と増。
- ②全相談のほぼ 1/2 が虐待相談である傾向はここ数年変わらない。
- ③虐待受付数の増加は 26 年度も続いているが、内訳種別では心理的虐待の増加が顕著。こどもの面前での DV や両親のケンカが増加の要因と思われる。習志野市の特徴とも言える。
- ④年齢別内訳では小中学校就学児に関する相談の増加が目立つ。

・千葉県内及び管内の児童相談所における児童虐待相談対応件数について報告
森山委員より説明

平成 25 年度の千葉県の件数は全国比較で平成 24 年度に引き続き 3 位。養育能力が下がっている家庭の増加や啓発が進んだ結果等要因は考えられる。全国的にも増加傾向に歯止めはかからない。
管轄別の取扱い件数は市川・柏・中央も増加しているが、銚子児相管内の増加が著しく、24 年度比 200%近い。

・習志野警察署生活安全課管内相談件数について 山宮委員より説明

DV、両親のケンカの目撃をした案件の対応が多くなっている。背景に、少年非行、子育ての悩みを抱える親の姿などが見えてくる。
児童虐待を取りこぼさないようにすること、掘り起こしていくことを心がけているが、同時に、対応する関係機関の職員に危害が及ばないように待機するのも役割だと認識している。

(4) ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修会（案）について 和田課長説明

7. 所管課名 子育て支援課

電話番号 047-451-1151 （内線）468

FAX 番号 047-453-5512